

# 奈良・人と自然の会

第7回東海自然歩道観察会

奈良Nature3/8報告



市村勝也

晴れたり曇ったり時々2mm程の霰 気温9℃

榛原駅10時出発 バス玉立(とおだち)下車

棚田の斜面にフキノトウがありました。雌雄異株 雄花は確認できたが、雌花の確認は宿題残り。

青龍寺に モクゲンジあり 葉も花もなし、ぜひ7月に花を見に来たいものです。

南斜面にヒカゲノカズラ。10年程前まではシダに分類されていた。これはヒカゲノカズラ植物門。

古くから知られていて神聖な物とされている。

振り返りの時のお話では、高級すし屋のガラスの中に飾っているそうです。

100円すしではお目にかかりません。

伝天岩戸の裸踊りで前を隠すのに使ったとか。

胞子は指紋をとるのに使ったそうです。

胞子で繁殖、陸上植物の原始形。

ちなみに松は球果植物門。イチヨウはイチヨウ植物門。被子植物門はあるが、裸子植物門は門としては無いことに注意。

道で拾ったダンコウバイ 冬芽事典で確認されました。葉痕に維管束3個あり。

高東城址そばにマツグミの実未熟。完熟すると赤くなるそうです。未不見。

webで見ると花も綺麗らしい。

これは半寄生植物である。ほかにコシオガマ、スナズル、ヤドリギ、ナンバンギセル、オオバヤドリギ、ヒノキバヤドリギ等がある。

cf: 寄生植物ネナシカズラ、ヤセウツボ

腐生植物ギンリョウソウ(井ノ口山)、キヨスミカグラ(ネイパル洞爺湖の裏山)、ツチアケビ(曾爾高原ほか)

鳥見山公園で昼食をとる。勾玉池近くは サカキ、ヒサカキ。

展望台からは淡路大橋、ツインビル、二上山を遠望し、大峰山、大台ヶ原には雪が残っていた。雲の合間からヤコブのはしご、良い写真がとれた。

鳥見山中霊時跡(とみのやままつりのにわあと)の碑を見る。

時は(にわ)と読むとは。

高”雨かんむりに龍”神社(たかおがみじんじゃ) ムクノキ、シキミの花あり。鳥はコゲラ、カワウ、ムクドリ、ヒヨドリ、ツグミ、カイツブリ、をみた。

gall(ゴール)

虫嬰、菌嬰、等植物が何らかに働きかけられ細胞が異常増殖した物の総称。  
シキミの葉、ツツジ、コナラに付いていた。  
信太山青少年の家の玄関先のクスノキの大きく肥大した物は樟脳を取るため  
武田薬品が傷つけた為という事を聞いた。  
ほかにイタビカヅラとイタビカヅラコバチ、ヌルデミミフシとヌルデシロアブラム  
シ、またコナラメリンゴフシ、イスノイチジクフシ等きりが無い。

板根ではウラジログシを見ました。

板根は西表(いりおもて)島のサキシマスオウが有名、年輪状に積み重なって成長  
している。

これはマングローブに生えるとは限らない。

石垣島では山麓に群生しているのを見せてもらった。

また山城山王神社のツブラジイ、枚方長尾勝俊寺のリョウブ、武田尾桜の園の入り  
口のカツラ等あり。なぜ板根になるのか？

解散 長谷寺15時。

試食につられて草もちを買う。少し下がった所では100円安かった。  
いつも奈良Natureは盛りだくさんで嬉しい。

## 第8回東海自然歩道自然観察会 4月7日(月)

清水 成子

天気は快晴。気温も20℃近くになり歩いていると汗ばむ陽気でした。榎原駅から玉立橋  
迄バス。そこから大和富士と云われる額井岳のすそを歩り、山部赤人の墓、戒長寺、室生  
ダム湖岸を歩き大野寺迄の15kmぐらいのコース。

藤原時代に戒律道場として隆盛を極めたとい、戒長寺にはオハツキイチョウの大木と  
ハウノキの大木がありました。寺の住職の話では、イチョウは普通雌雄別木ですが、この  
寺のオハツキイチョウは雌雄同木だとの事で、これは原始の型だそうです。イチョウの葉  
に切れ込みがある方が雄。丸いのが雌だと教えていただきました。

途中ツクシが沢山はえていて摘んでいると、寺田さんがツクシについて一言。ツクシ  
はスギナの胞子を作る器官で、フイナは「生きた化石」とも呼ばれるシダ植物だという事  
でビックリ。毎年食べているのに知らなかったなあ。

イタドリの枯草が沢山あり、新芽の出る頃来たら沢山収穫できるだろう等と思ってい  
たら後ろの方で大きな笛の音。樋口さんがイタドリの茎で笛を作って吹いているのでした。  
考える事が違うなあ。

途中の桜はまだ蕾かたのに、大野寺のイトシメ桜は8分咲きでとてもきれいでした。

今日のコースも良かったです。自然歩道と云い乍らコンクリートの道が多くなってい  
るようでとても残念です。

毎回下見と沢山の資料を用意して下さるスタッフに感謝。

## 西大和中学生の自然体験 ～竹の間伐から竹炭の窯入れまで～ 樋口 善雄

去る3月12日(水)西大和中学生2～3年生の自然体験教室に随行した。大阪の金剛山麓で実施となった。

### 1、メンバー構成

- (1) 西大和中学 教諭4名・生徒17名 (2) 錦織里山クラブ 11名 (3) 奈良人と自然の会 2名 計33名

### 2、行事内容 竹炭を作る経験と竹筒炊飯。

- (1) 分担 <1班>猛宗竹の間伐し炊事担当。<2～4班>間伐と枝落とし林床整備  
(2) 進行

(イ) 現地 <1班>竹2本の間伐し炭焼き小屋へ持ち帰る。<2～4班>竹林で一人1本の割合で間伐・枝落とし林床整備。

(ロ) 炭焼小屋 1班が飯盒の形に切断、米・水の充填、点火、炊飯で2～4班を迎え合流。焼きあがった炭だしと炭窯に仕込む竹の菊割、節落としを交互に行う。

- (3) 食事 猛宗竹を飯盒に利用した炊飯は、生徒達に好評であった。労働後のためか、おかずとして準備した豚汁と共に飛ぶような売れ行きで1・5合/1人の米では不足の様だった。

3、まとめ 里山クラブより竹の生態についての説明を受けた。竹山で仕事をする人は、水虫にかかる人がいない事や、竹と笹の違い、竹は草か?木か?の問答にまで発展して、さすが中学生だ、と感じた点もあった。大成功であったと思う。今後このようなイベントを受け持った場合の蒞蓄の一端として、勉強になった一日を過ごした。

## 3月定例会 大宇陀路を歩く (野草園見学)



シニア 9期生 岩田 和子

3月26日(水) 晴れ

近鉄榛原駅Am9:20分集合してバスで終点大宇陀駅に着く。お天気に恵まれ暑くもなし寒くもなし、梅には遅く、桜には少々早いうららかな春日よりの一日を大宇陀の町を散策しました。18℃を越す気温に頬を撫でる風が心地良く「森野旧薬園」に着く。樹木の多いのに驚きながら、手に触れてみてどの木も薬用木であるのに二度おどろいた。例えば天台烏薬(てんだいうやく)の根=芳香性健胃鎮痙、接骨木(にわとこ)の枝=利尿、黄蓮(せいばほうれん)の根=苦味健胃、消炎作用等々がある、又天然記念物で



ある「花の木」それと「かたくり」がありこれらが咲いているのを見たいのですがまだ早いとの事で心をひかれつつ万葉公園かぎろいの丘で昼食をいただきました。お腹もふくれ目がトロンとするやいな望遠鏡でカシラダカ、モズ、オウジロ等の小鳥を見、声を聴きつつのんびり過ごし、又兵衛桜から天益寺へ歩きました。又兵衛桜は勿論花が咲いていなかったのですが、周囲は人の手がどんどん加えられ、桜より周りの異様さが目に付き過ぎ自然の風格が見られないのが凄く残念でした。天益寺の桜の方がまだ自然の姿があり、かえって天益寺の方が心に残った様に思います。

又兵衛桜の側で見つけた「かんぞう」を少し摘み家に持ち帰って酢味噌であえて食べたところ何と美味しかったことでしょう！宇陀の駅で買った「フキノトウ」をてんぷらにした、食いしん坊の私にとって春を満喫しました。

最後に柿木人麿呂と周りの春の一日気持良く過ごさせてもらいました。自然の中に自然のままの姿が綺麗であって、人手を加え整備し過ぎると本来の目的が薄れてゆく事を感じました。

ネイチャーなら  
奈良・人と自然の会  
第9回 東海自然歩道・自然観察会のご案内

NHK 特別番組『21世紀に残したい日本の風景』全国第7位にランクされる女人高野「室生寺」。新緑のせせらぎに河鹿や山にはホトトギスの声を聞きながら、石楠花が咲き競う「室生寺」へ大野寺からスタートしませんか。

〈コース名〉 ⑨ 室生寺 [6km] 楽々コース

〈日 時〉 5月7日(水) 10時 集合

〈集合場所〉 近鉄室生口大野 : 改札口

近鉄ナンバ【奈良行快急】8:44…鶴橋8:50乗換【青山町行区快】8:56…八木9:31…室生口大野9:50

〈行 程〉 室生口大野～大野寺～門森峠～室生寺…室生口大野

〈担 当〉

勝田 均 (

寺田正博

弓場厚次

<第10回東海自然歩道観察会は6月8日(日)です>



## 端午の節供と植物

寺田正博

五月五日は「こどもの日」、「端午の節供」である。昭和二十三（1948）年七月二十日発布の国民の祝日に関する法律によって「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」と定められている。「母の日」は五月の第二日曜日とされているが、法的には五月五日が「母に感謝する日」でもあります。

端午の節供の「端」は始め意、端午とは月の始めの午の日のことです。中国では漢の武帝のときに採用した暦、夏正では十二支の寅を正月としており五月は午になる。夏正はそのまま日本に輸入された。中国では、古代より端午の日に野に出て菖草を摘み、蓬で人形や虎をつかって門にかけ、菖蒲を浸した酒を飲み、すべて穢れをはらい災厄を祓うための行事が行なわれた。

日本では奈良時代の「養老令」の雑令に、中国的な節供が「節日」とされており、節日には朝廷で節会という宴会が催されるようになります。端午節会は平安時代には五節会の一つとなり、「枕草子」に「〔三五〕節は五月にしく月はなし。菖蒲、蓬などのかをりあひたる、いみじうをかし」とあり、宮中の御殿から民家までが菖蒲を葺きあうと記されています。

菖蒲は端午の節供の重要な節物です。この菖蒲はサトイモ科ショウブ属の植物で、美しい花の咲くアヤメ科のハナショウブやアヤメとは、葉が剣のように細長い点は似ていてもまったく別種です。古く万葉のころはショウブはアヤメグサと呼ばれていた。万葉集にはショウブは十二首。そのうち五首ではアヤメグサとよばれ、万葉仮名で安夜売具左や安夜女具佐と書かれ、七首では菖蒲、菖蒲草、昌蒲があてられている。いずれも、アヤメグサと読まれている。

菖蒲は香り高いので、邪気を払い疫病を除くといわれている。菖蒲茸として軒にあげ、菖蒲髪として髪にさし、菖蒲枕として枕の下に入れ、菖蒲湯として風呂に入れる習わしがある。菖蒲が邪気を払うとされる理由は、むかし中国で平舒王が不忠の臣を殺したが、その魂が毒蛇となって禍をもたらしたので、頭部が赤く葉身の青い蛇の形をした菖蒲を裂いて酒に入れて飲んだところ降魔の術を授かり、蛇を退治したという故事によっていわれている。

蓬もかつては魔除けとして使用されていた。中国では五月は悪月とみられていた。これを祓うため五月五日の早朝、鶏が鳴く前に蓬や菖蒲を採り、それを門に飾ったり、煎じて飲んだ。この蓬採りの風習は現在も中国の一部に残っているようです。日本で菖蒲と蓬が五月五日という特定の日と結びついたのはこのように中国の影響といえるでしょう。

引用参考文献 「植物と行事」湯浅浩史 「年中行事を科学する」永田久  
「歳時の博物史」五十嵐謙吉



## 2003年4月度定例幹事会報告

- 1 日時： 2003年4月4日（金）PM6：00～9：00
- 2 場所： 奈良県文化会館
- 3 出席者： （川井、寺田、樋口、弓場、小山、勝田、豊島、野田、大寺）
- 4 議事：

### 「報告事項」

- (1) 会員動向 2002年度 69名 2003年度（会費納入者）65名 （豊島）
- (2) 第6回東海自然歩道自然観察会 （弓場）  
鳥見山公園（長谷寺～榛原コース）参加者 34名  
（榛原 → 玉立バス停 → 鳥見山展望台 → 長谷寺）
- (3) 月例行事：大宇陀森野薬草園 参加者 22名 （豊島）  
（榛原 → 大宇陀 → 森野薬草園 → 薬の館 → 又兵衛桜）
- (4) 西大和学園中学生ボランティア体験 （川井、樋口）  
場所：堺赤坂小吹台 参加者：中学生 21名 先生 4名 錦織里山クラブ 11名  
奈良人と自然の会 2名 合計 33名 作業：竹伐採、竹炭窯出し・仕込み  
竹ご飯

※ 参加した中学生、先生共に大好評であった。

### 「承認事項」

- (1) 決算報告の件
- (2) 役員交代の件

### 「討議事項」

- (1) 通常総会の案件について 総会資料の作成担当者決定

- 5 その他： 「奈良人と自然の会」活動フィールドについて  
「奈良市黒髪山キャンプフィールド」（境 寛氏）「生駒市北田原の里山」（大石門三氏）  
について説明があり、いずれも現地見学の上前向きに検討する事とする。

### 編集後記

各部の決定事項や連絡事項および投稿は5月20日までに下記までお送りください。

連絡先：勝田 均

奈良・人と自然の会事務所

川井 秀夫